

「想いのマップ」を こんな場面で普及してください！

想いのマップとは何か？なぜ、普及が必要か。

「病気や障害をもっても最期まで住み慣れた地域で自分らしく過ごしたい。」
これは誰もが願うことです。

「**想いのマップ**」とは自分がどのような生活を望むのか
について語ったり、言葉に書いたりしながら家族や支援関係者
と共有するためのツールです。

「想いのマップ」の活用により住民自らの願いをかたちにして
いくことで在宅医療等を進めていき、**誰もが望む暮らしの実現**が期待されます。



健康問題等に関心のある方たちへ

【活用方法】自分自身の健康や今後の過ごし方について考える機会として活用できま

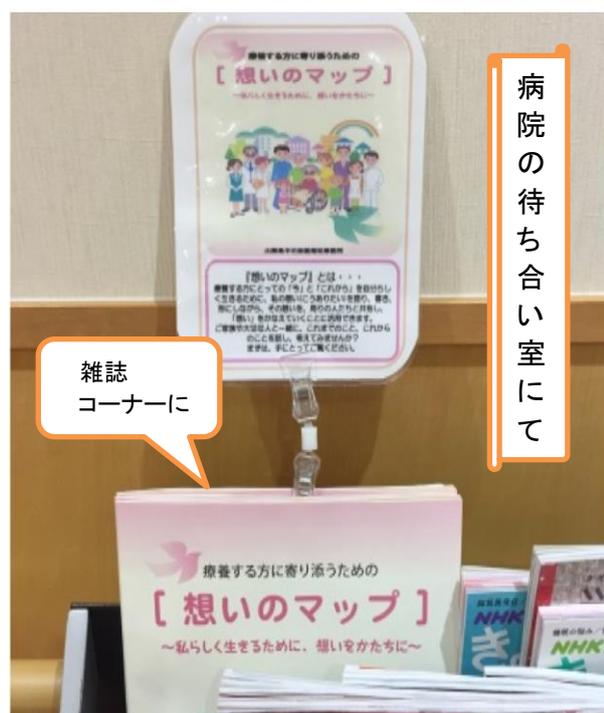
【活用場面】診療所・病院の待合室
健診会場、地域包括支援センター、
介護保険事業所（通所介護、施設等）

地域で暮らす住民の方たちに

【活用方法】最期まで自分らしく生きることを考えるきっかけにもらえます。

【活用場面】自治会の集まり、高齢者学級、
組織団体の研修会等

活用の例



教育や研修を受ける方たちへ

【活用方法】療養者の想いをつなぐことの大切さを理解してもらうことができます。

【活用場面】医療介護の現場で療養者を支援する方やこれから従事しようと思っている学生の方たちへの教育・研修の場

発行元：山梨県中北保健福祉事務所 電話：055-237-1380

<http://www.pref.yamanashi.jp/ch-hokenf/omoinomap.html>